

# やってみようオンライン会議

やってみたい！  
でも、使い方が  
わからない……



スマートフォンでも  
参加できる？

オンライン会議が出来る「Zoom」の活用方法に関するご相談を承っています。パソコンまたはスマートフォンがあれば大丈夫。メンバーとの気軽な近況報告や資料を共有する会議まで、団体活動の新しいコミュニケーション手段として取り入れてみませんか。ご相談・レクチャーをご希望の際は、まちサポまで電話またはメールでお問い合わせください。

◎まちサポ・オンラインでつながる企画は今後も計画中です◎

## ◆◆まちサポSHOP情報◆◆

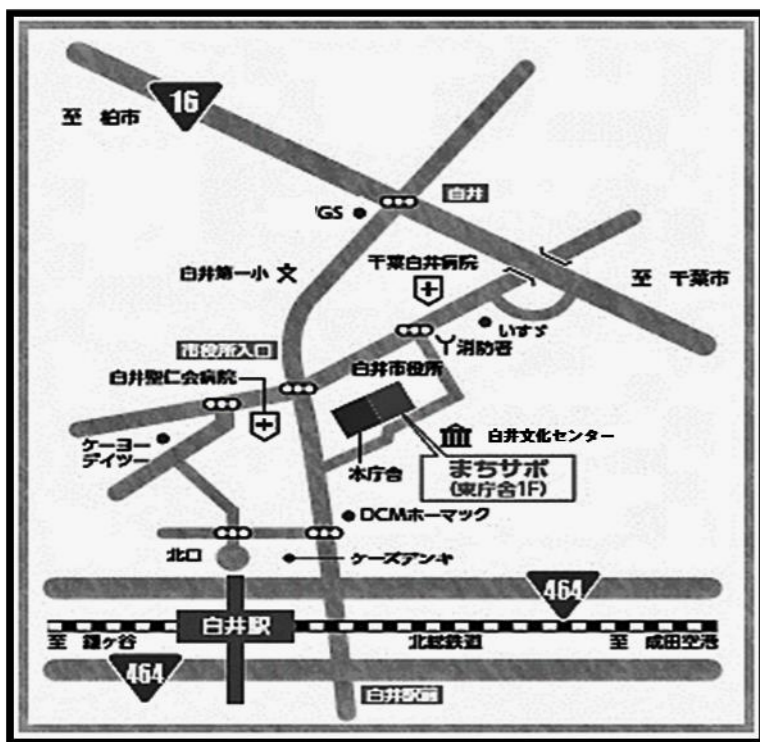
イベント自粛で販売する機会が無くなってしまったポストカード・竹細工・食品加工品・小冊子などまちサポがご紹介します。情報をお寄せください。

※購入方法は直接、団体へ問い合わせください。

情報募集中



しろいふるさとガイドの会  
市内名所ポストカード 30種類1枚50円



フェイスブックも  
やっています！



FB しろい市民まちづくりサポートセンター

検索

### 【印刷マスター塾】

まちサポ作業スペースの印刷機・紙折機・丁合機などの便利な使い方をレクチャーしています。(要予約)ご希望の方はまちサポまでお問い合わせください。

### 【編集後記】

(菊池) 新しい生活様式による活動にお役に立てるヒントや情報を発信していきます。

まちサポ通信 VOL.12 発行日：令和2年7月15日  
発行元：しろい市民まちづくりサポートセンター  
TEL：047-401-3729 (直通) 祝日のみ休館  
MAIL：machisapo@city.shiroi.chiba.jp

市民活動団体の活躍情報、まちサポの楽しいイベントやセミナー等、奇数月に発信していきます！

### 主な内容

- ・【SDGsの視点】団体活動が広がります
- ・登録団体活動紹介 NO.6「千葉ニュータウン友の会」
- ・協働 パートナーシップ訪問環境課  
<環境保全・放射線対策班>
- ・施設利用再開 感染予防協力をお願いします
- ・クローズアップ市民力 学びを伝えたい(写真技術講習会)
- ・まちサポスタッフ紹介
- ・まちサポからのお知らせ・ご案内



みんなの つなぐ、広げる

# まちサポ

通信Vol.12

【SDGsの視点】  
団体活動が  
ひろがります



SDGS  
「持続可能な開発目標」  
2030年実現に向け  
国連が採択したゴールを  
活動に取り入れて  
みませんか？

## 【SDGsとは】

国連が採択した2030年までの国際目標です。貧困から飢餓、環境問題、経済成長やジェンダー平等まで幅広い課題が網羅されています。豊かさを追求しながら地球環境を守るため、17のゴール(なりたい姿)と169のターゲット(具体的な達成基準)が設定されています。



## 【活動の視点を変えてみる】

●17項目の目標は家庭、日常生活に溢れています●

ESD地域リーダー、ガールスカウト千葉県第63団の柴田さんは、SDGsの目標の中からジェンダー、防災の視点を活動に組み入れ、カリキュラムを新たに作成しました。

気づき➡考える(プロセスが大切)➡行動のフローを大切に活動が展開できるようになりました。

例えば、少女たちの気づきを肯定感に変えるプログラムでは、生きる力を育む。またガールスカウトの防災カフェやKIZUNA Dayを通してSDGsが目指す「一人も取り残さない」というテーマを深めました。

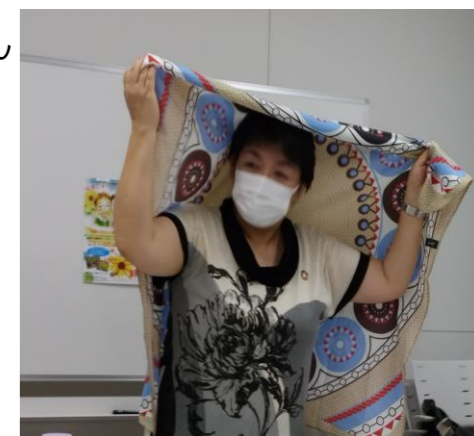
これからはESDリーダー研修でのネットワークを活かし、SDGsを地域に広めていきたいという柴田さん。

関心がある方、SDGsの視点を活動に取り入れたい団体は、まちサポまでお問合せください。

## 【ESD地域リーダー】 学びの担い手

ESDは「持続可能を地域で進めていく担い手を育成する活動」です。

地域で活動を進めるESD地域リーダーは、SDGsが掲げる環境、平和、人権など様々な課題への取り組みを広めるリーダーとして活躍しています。



【ESD地域リーダー】  
ガールスカウト千葉県第63団  
柴田加寿子さん

## 施設利用再開 ▲感染予防のご協力のお願い▲

当面の間、利用制限を設けた上で利用再開となりました。  
感染予防のためにも皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

- 感染防止のため、マスクを着用し来館してください。
- 利用の際には、必ず体温を測り、発熱等の症状がある場合など、体調に不安がある場合は来館はお控えください。
- クラスター発生など万が一の場合に備え、利用後に参加者全員の名簿を提出してください。
- 利用開始と終了間際、利用途中に2回以上、数分間換気を行ってください。
- 利用後の消毒実施をお願いします。



◇交流スペース  
・少人数でのご利用をお願いしています。



◇作業スペース  
・室内1名にてお願いいたします。



◇会議室利用について  
1部屋6名まで(140円/H)  
2部屋12名まで(280円/H)

※多目的スペースは、10月からご利用できます。

## クローズアップ市民力

学びを伝えたい!!  
オリジナルテキストで  
写真技術講習会実現!!



白井市写真クラブでは昨年、オリジナルテキストを作成して技術講習会を実施しました。  
ネットで写真技術について調べていたという山口さん。偶然八千代市内の公民館で写真技術の講座を発見し参加。県で入賞するほどの講師から、なるほど納得の技術や目からウロコの技術を学び、これからヨシ!やるぞという気持ちになった。この学びを活かしてテキスト作りに着手したという。

- ・撮影で大切なポイント (ピント・露出・撮影法・ホワイトバランス・構図など)
- ・撮影方法
- ・デジタルカメラの設定
- ・レンズの特徴

これから始めたいという人はもちろん、仲間とテキストを使い意見交換しながら互いの知識を深めていきたいと抱負を語る。次回は夏頃に、「初めてカメラ」を触る人向けのアプローチで講座を模索中。ご興味がある方はご連絡を。詳しくは直接 白井市写真クラブ 山口さん 080-7895-7915

## 令和2年度 まちサポスタッフ紹介

つなぐ、広げる  
みんなの「まちサポ」



石垣 裕子センター長



伊藤 研一

## 市民コーディネーター



駒沢 里美 鈴木 英男 藤本 孝 菊池 由紀子

どうぞよろしく  
お願いいたします。

## 登録団体活動紹介 NO.6

### 千葉ニュータウン友の会

一つひとつの家庭を良くすることから社会を良くすることを目指し衣食住・家計・子どものことを中心に家庭生活について学び合っています。全国にある「友の会」、千葉ニュータウン地区を拠点に活動中です。

～地区リーダー藤川さんの思い～

●参加のきっかけ ～家計に目を向けたことをきっかけに～  
3人の子育てをしていく中で、家計の管理に不安を感じていたところ、近所の方に「最寄会」に誘われました。家計簿のつけ方だけでなく、生活を豊かにするためのヒントを学び合えることと、会員の皆さんの温かさに惹かれ、活動に参加するようになりました。

●自分の変化・気づき ～活動を通して、家庭が豊かに～  
家計簿をつけることで、お金の使い方について家族と話し合えるようになりまし。また、衣食住のやりくりのコツを学び、家庭で実践することで暮らしが豊かになっていきました。活動を家庭や社会に還元できることが、活動の魅力です。

●こんな人に参加してほしい ～家庭と仕事の両立を目指して～  
かしこく家事・育児・仕事をこなしたい方にお勧めです。そして、家事家計・子育てについて学びながら、地域の人とつながりを持ちたい方は気軽に参加してほしいです。



「家庭は簡素に  
社会は豊かに」

羽にもと子の著書や関連書籍を題材に、時間・お金・生命の使い方を年代を越えて学びあう場「最寄会」

毎年、一般向けに家事家計講習会を開催している



公民館の男女共同参画事業に協力し、パパ向け料理講習会を実施

自分で朝ごはんをつくらう！  
子どもたちの生きる力を育む  
親子料理講習



★活動の詳細はHP「松戸友の会幼児生活団」トップページリンクから閲覧可能



## パートナーシップ訪問

環境課 <環境保全・放射線対策班>

市内で活躍する団体の中でも環境をテーマに取り組んでいる団体は数多くあり、さらに自然保全・エネルギー・生活安全など明確に活動目的を掲げている団体が多いことが特徴です。

さらに庁舎内には市民と協働事業を進める部署がありますが、中でも環境課はその所管課です。

年々増加傾向にあるという協働事例の紹介、協働が実現するまでのプロセス、市民と共に活動する思いなど、石田俊之さんに聞きました。(令和2年3月27日当時、環境課)

### 【環境課での協働事例】

啓発・保全・学術的知識など専門性の高いスキルやノウハウを持つ団体と連携を図り、互いにWIN-WINの関係性を保つことが大切なポイントです。

- 施策マッチング 環境保全・維持
- 啓発活動 市民講座・フィールドワーク
- 学術的知識活用 教育現場での活用 (小学校での授業)

### 【協働に対する思い】

市民から学ぶことも多く、協働によって市民活動のパワーを感じられます。つなげたり広げたりする上でも、情報は大切であり、感度の良いアンテナがマッチングの鍵といえます。



情報アンテナは  
協働の鍵

### 【協働のプロセス】

- ① 団体から提案があるケース  
市の施策とベクトルが合致しているか見極め、何ができるか検討して進めることがあります。
- ② 関係性の中から新しい取り組みに発展するケース  
団体のニーズや実現したい取組の中から地域を巻き込む際のコーディネーター役として支援する場合があります。

### 【協働によって実現できていること】

団体に所属する人材を活かしたり、規模が大きくなる。専門性が深まる。内容が充実する。などさまざまな点において活性化につながるが多いと感じています。